

動作説明

ウインカー点滅中の動作停止

ウインカー点滅中は動作介入致しません。
運転者がこの後右左折をする意思が有るので踏み間違いになる事はほぼ無いという想定です。
交差点などでクリーブ走行で前走車に追尾して信号が変わる際などで素早く加速しなければならぬシチュエーションなどでの介入を予防します。

動作シミュレーション方法

当製品は車輻が完全停止時は動作しない設計ですが、取り付け後のテストや動作介入がどのように入るのか安全にテストする方法を搭載しています。

それはハザードランプを点滅させておくだけです。

ハザードランプ点滅中は車輻停止状態でもアクセルペダルを踏み込めば動作するようになります。

パーキングポジションなど、車輻が動き出さないようにしてテストしてみてください。

ブレーキペダルを離れた1.0秒後以降にアクセルペダルを70%以上踏み込んだらアクセルOFFになります。(急坂を上り方面で停車状態では80%以上です。)

ガイダンスがどのように流れるか、ブレーキを踏んでどのように復帰するかを事前に試しておいて下さい。

実際の踏み間違いの時に冷静に対応できるようになるとと思います。

当製品の動作アナウンス

当製品は車輻のイグニッション操作に連動してスタンバイモードとなります。

起動時には毎回「アクセルセーフティ、起動しました」とガイダンスが流れ、車輻OFF時は「運転お疲れ様でした。」とガイダンスが流れます。

当製品が正常に動作しているのかを告知する意味でも有りますので、このガイダンスは消せません。ご了承下さい。

(弊社ホームページで起動時/終了時のガイダンスのみ消音するプログラムを公開しています。起動/終了ガイダンスが不要な場合は書き換えを行って下さい。)

AT-ACSM

アクセルセーフティモジュール (誤発進抑制装置)

SET UP MANUAL



株式会社エイタック 〒223-0056 神奈川県横浜市港北区新吉田5581 Phone.045-595-1730 Facsimile.045-595-1733

製品説明

当製品はアクセルペダルとブレーキペダルの踏み間違いで急加速して事故に繋がるのを予防するユニットです。
踏み間違いと判定した場合にアクセルOFFの状態にします。

ブレーキを掛ける機能は有りません。アクセルOFF状態にしてそれ以上加速させないように致しますので踏み間違いに気づいてブレーキを踏んで下さい。

動作した時点でアクセルOFFになり「ブレーキを踏んで下さい!」とガイダンスが繰り返し流れます。ブレーキが踏まれた時点で動作終了して通常走行可能となります。動作条件に付いては車輻CAN信号を高度に解析して組まれた動作アルゴリズムを搭載していますので、不必要な動作は極力起きない設計です。アクセル信号の増幅機能は持っていますので当製品の不具合などが原因で車輻が暴走するなども起きない安全設計です。

※電子機器の為、故障が起きる可能性は有りますがその際は未装着状態と同様なだけで他の不具合は起きません。

重要注意事項

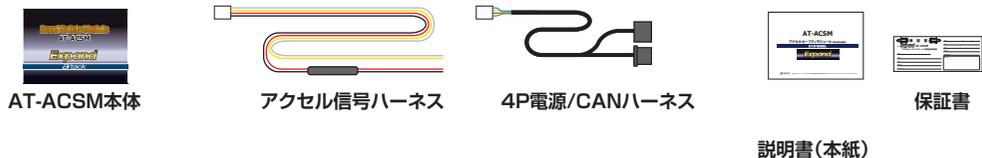
当製品は踏み間違いによる急発進を抑制する装置であり、ブレーキを掛ける機能はありません。当製品は踏み間違いによる事故を最小限に抑制する為の装置であり、交通事故に繋がらないことを保証するものではありません。
当製品はあくまでも急発進抑制装置であり事故を防止出来る装置では有りません。当製品装着後に発生した交通事故に関し弊社への責任は発生しないものと致します。

適合車種 当製品は(F)系車輻以降でオーディオユニット部がHISPEEDCAN信号となった車輻以降に取り付け可能です。

1シリーズ	F20全車対応	X1	F48全車対応
2シリーズ	F2X、F87、F4X全車対応	X2	F39全車対応
3シリーズ	F3X、F80、G20全車対応	X3	F25、LCIモデル以降対応、G01全車対応
4シリーズ	F3X、F82全車対応	X4	F26、G02全車対応
5シリーズ	F1X、LCIモデル以降対応、G3X全車対応	X5	F15、G05全車対応
6シリーズ	F1X、LCIモデル以降対応、G3X全車対応	X6	F16全車対応
7シリーズ	FOX、LCIモデル以降対応、G1X全車対応	MINI	F系車輻全車対応

※必要無いと思われませんがM/T車輻でも対応可能です。

商品構成



取り付け

アクセルペダルの取り外し

当製品はアクセルペダル部の配線に割り込みますのでアクセルペダルを一旦取り外す必要が有ります。配線作業をする上で運転席アンダーカバーやキックパネルなども取り外します。
※アクセルペダル配線の抜き差しは安全の為車輦がスリーブに入っている状態で行って下さい。アクセルペダルからコネクタを抜き、製品同梱のハーネスを割り込ませ配線処理を行い製品本体へ接続します。(アクセル信号が同梱ハーネスを経由してDMEへ送られる状態となりましたので車輦スリーブを起こしても大丈夫です。)

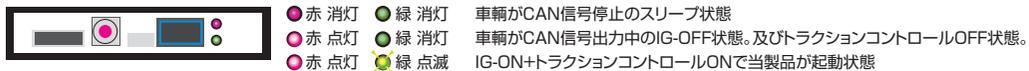
オーディオユニットの取り外し

製品の電源/CANハーネスを純正オーディオカブラ部分の配線へ割り込ませて下さい。

NBT車輦 40Pコネクタ	MGU車輦 16Pコネクタ
電源 (赤) 15番	電源 (赤) 1番
GND (黒) 12番	GND (黒) 2番
CAN-HI (黄) 11番	CAN-HI (黄) 9番
CAN-LO (白) 9番	CAN-LO (白) 16番

※ TVキャンセラーやAVインターフェイスなどが装着されている場合、CAN信号取得は車輦側CAN配線へ接続して下さい。

電源/CANハーネスの4Pコネクタを製品本体に接続します。
製品本体のLEDインジケータを確認します。



分解した各部品を元に戻し、当製品をアンダーカバーなどに貼付固定致します。

動作確認

取り付け後の動作チェック

エンジンを始動して空ぶかし操作を行い車輦に不具合が無い確認して下さい。
ハザードランプをONにして下さい。(停車中での動作確認が出来るようになります。)
ブレーキペダルを離れた1秒後以降にアクセルペダルを70%以上踏み込みます。
アクセルOFFとなり「ブレーキを踏んで下さい。」とガイダンスが繰り返し流れます。
ブレーキペダルを踏みます。
「動作しました。復帰します。」とガイダンスが流れ純正状態に戻ります。

- ※ アクセルペダルを踏んだまま左足などでブレーキ操作しても復帰出来ません。必ずアクセルペダルから離して下さい。
- ガイダンス音量調整をする場合、製品本体のゲインダイヤルを操作して下さい。「この音量で案内します。」とボリューム確認が出来ます。
- ※ 音声が届かない範囲でご使用下さい。

動作説明

当製品はイグニッションONに連動してスタンバイ状態となります。「アクセルセーフティ、起動しました。」とガイダンスが流れます。車輦の走行モードでトラクションOFFとなるモードを選択した場合は動作を停止します。ウインカー点滅中も動作を停止します。
通常はブレーキペダルを離れた1.0秒後から動作介入のアルゴリズムがスタートします。ブレーキを離れた1.0秒後以降で走行開始から10km/h以下の時にアルゴリズムで設定されているアクセル踏み込み量を超えすと動作介入致します。

- ※ 1.0秒以内にアクセルを踏んではいけないという事では有りません。1.0秒以内に急激な踏み込みはダメという事です。1.0秒以内での急激な踏み込みなどは意識的にペダルの踏み換えを行っているスポーツ走行と判断して動作介入致しません。

動作介入していない状態の時にアクセルペダルとブレーキペダルの同時操作では介入する事は有りません。左足ブレーキ使用などのスポーツ走行にも対応した設計です。あくまでもブレーキを離れた1.0秒後から動作条件が入ります。

そして車輦完全停止中そのまま空ぶかしなどでは動作致しません。これはディーラーなどでの整備の際にエンジンレーシングなど空ぶかしする作業時に余計な介入をしない処置です。(当製品動作点検用の回避動作はハザード点滅です。)
車輦のブレーキシステムにオートホールド機能が搭載されている車輦でもブレーキの検査はブレーキペダルの踏み込みで検査していますので、オートホールド中でブレーキ作動している場合でもブレーキペダルを離している判定を確実にを行います。60km/h以下での市街地走行中にクルーズコントロールを使用してしまうような場合も想定して自動ブレーキでのブレーキ操作なのかドライバーがブレーキペダルを踏んだのかも確実に判定しますので、動作アルゴリズムの範囲で確実に機能致します。

発進時などのアルゴリズム

走行開始から10km/h以下までの速度では70%以上アクセルが踏み込まれますと動作します。動作するとアクセルOFFとなり「ブレーキを踏んで下さい!」とガイダンスが繰り返し流れます。ブレーキを踏む事で動作介入が終了します。この動作も発進時にブレーキペダルを離してから1.0秒後から動作します。1.0秒以内にアクセルペダルを踏んではいけない訳では有りません。1.0秒以内に70%以上になってはいけないという事です。ブレーキを離して1.0秒以内のべた踏みは自ら踏み換えた故意のスポーツ走行と判断致します。またこの発進時のアルゴリズムは車輦が急激な上り坂かも検査します。急激な上り坂ではアクセルペダルの踏み込み量が増える事が想定されますのでこの時の動作介入はアクセルペダルが80%以上踏まれた時となります。もちろん10km/h以下の発進時に適応されるので速度が出てる上り坂では踏み込めます。

- ※ 10km/h以下の速度ではキックダウン操作は出来ませんのでご注意ください。(ブレーキ操作後1.0秒は当製品は介入しませんので、左足でブレーキを軽く踏むという裏技で10km/h以下でのキックダウン操作は可能です。)

走行中などのアルゴリズム

車輦速度が10km/h~60km/h以下の条件となります。60km/h以上では当製品は動作しませんので注意して下さい。この速度域では、現在のアクセル踏み込み量から0.1秒以内に50%以上増加して全体の70%以上に達すると動作します。ブレーキと間違えてアクセルペダルを踏んでしまう場合は一気に踏み込んでしまいますよね?このような状況時に動作する設計です。故意に走行中の加速をする場合は0.1秒以内に50%を超えない操作を行えばOKです。ジワッと踏み込むとかです。動作した場合は同様にアクセルOFFとなりガイダンスが流れますので終了させる為にブレーキペダル操作を行います。車輦を停止する必要は有りません。ブレーキペダルを少しでも踏めば気づいている訳なので即時動作停止します。

- ※このアルゴリズムでは走行中のアクセル開度が50%を超えている状態からの踏み間違いには対応出来ません。

車輦の走行モードによる動作停止

車輦の走行モードを(Sports+)や(トラクションOFF)(DSC-OFF)などトラクションコントロール機能OFFのモードを選択すると、当製品は動作を停止します。
サーキットなどでのスポーツ走行や雪道でのスタックからの脱出など介入して欲しくない場合に対応出来ます。上記のモードを選択すると「アクセルセーフティ、停止しました。」とガイダンスが流れます。再度走行モードを対応モードに変更すると「アクセルセーフティ、起動しました。」と通常動作となります。